



収穫祭です

「わかばタイム」の行事として11月2日(木)に「収穫祭」が行われました。当日は東中農園の作物を使って「けんちん汁」を楽しみました。しかし、今年の東中農園は、思いのほか収穫物が少なく、不本意ながら食材の多くを購入することになってしまいました。不作の原因は天候の影響もあるでしょうが、やはり、作物栽培に十分手をかけなかったことや、栽培方法の研究不足が主な原因であると考えられます。特に、夏休み中に雑草で覆われ尽くされたサツマイモ畑は、東中農園の顕著な失敗例となってしまいました。その一方、栽培管理に手をかけた畑の作物は立派に収穫できていました。「自分が世話をしなくても誰かがやってくれるだろう」という甘い考えが作物の不作という結果として現れたようです。厳しい表現をするならば、「作物の不出来が無関心の証拠」ということになります。東中農園は「わかばタイム」の必修課題ではなかったのです。自分たちの力だけでは無理だと判断するなら取り組まなくてもよかったのです。あくまでも農園の栽培は「わかばクラスに所属する一人ひとりの意思」で始められたはずです。この辺りの振り返りは、農園学習を行った各「わかばクラス」でなされることでしょう。収穫祭の感想としては厳しいものになりましたが、大切なことだと考えます。だからこそ、一人ひとりが考えて欲しい問題だと思います。



下ごしらえは万全です



美味しそうな「けんちん汁」完成です。

プレゼント

里芋のプレゼントです。松井先生が収穫祭のために、農園の片隅で予め栽培しておいて下さいました。美味しそうです。ありがとうございました。



「収穫祭」当日は気温が低めであったこともあり「けんちん汁」の人気は上々でした。残念ながら収穫不足のせいで一人一杯の配膳となりましたが、「わかばクラス」によるカボチャや里芋の寄付により、今年も無事に「収穫祭」を開催できたことを伝えておきたいと思います。